

てんやわんや記

何が本職で？？」と

私に聞いたつもりでした。

又、近所の人たちに

私は、三月末に広島入りをした。さ

っそく着いた日にA中学校にビラ入れ

をし、ここに「広島こむな」の名乗

りをあげた訳です。四月始めに生徒が

ボチボチ来始めたがその前は、色々宣

伝をしたのにどないしたんやろかと少

々心配であった。それでさっそくホス

ターはり、入学式のビラ入れ、停留所

のビラ吊り……。その効果は四月も中

頃以降になって現われ始めた。小学生

二人、中学生三人、この他に両い合わ

せが数件あったらしいが、家主が「両

い合わせがあっても、あなたの素性が

よくわからないので答えるつもりは

せん。出身はどこで、大学はどこで、

父兄が聞いたつもりでした。私の今

の肩書の仕事であるテリ紙交換を利用

して塾の宣伝を試みてみたが成功せず、

逆効果ではなかったかと思っている。

まあ、なんやかんやあって、どうに

か塾は加まっています。

A君は勉強に意欲がなく、数回説明

してもはつきりした反応がない。彼が

好きな社会を利用して英語を教えたり

あの手この手と工夫をこらして意欲を

湧かせようとしている。B君は多少、

知っているんだという意識が強く、塾

を甘くみている。彼には、その鼻をへ

し折りつつ、その気の強さをきつとひ

き出させたいと思っている。

このあいだB君が、学校での答と塾

での答が違うとニヤニヤして私に問い

かけてきた。集合の問題で、その一語

一語厳密に言えば問題自体がおかしい

と私もB君も理解した。私はなんで答

が学校と違うのかよく説明した。B君

はその時にはもう学校からの権威を疑

い出したのか、自分なりに問いを追求

していったみたいだ。私は、学校で先

生と対決しろと言わないまでも、問題

を自分なりに追求して、私にも学校の

先生にも尋ねない厳しい姿勢をとれ

と言った。この時、具体的に学校の権

威主義を感じ、又、それに盲従し易い

子供をみた。学校教育を否定する糸口

を、おぼろげながら把握したと思う。何で

も教師のいうことは正しいとする子供

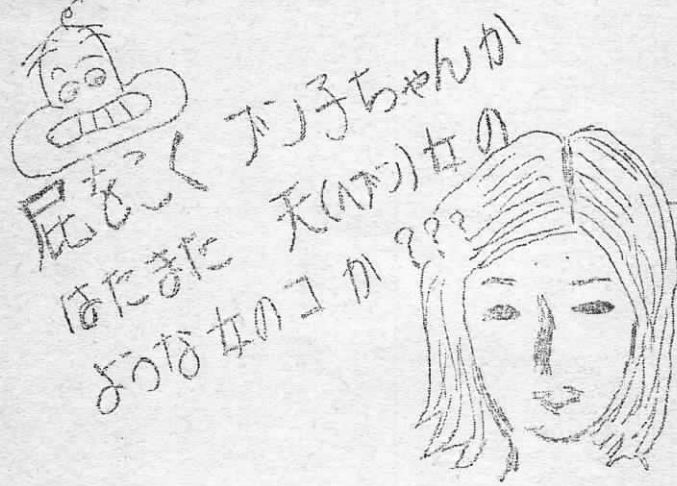
を育てているのに腹が立つ。(アンソン)

高校を卒業してすぐにある企業に就職。0.1生活を続けること一年九ヶ月。完璧なまでの分業。あたりさわりのない話で事をすま

す人間関係。私にとって労働とは単にパンを得るための手段だと自分にうそづいてても、結局我慢できず、止めてしまった。

会社を止めた理由がもう一つある。それはいわゆる社会通念としてある「女の道」を生かされようとしている自分に終止符をうちたいといつことである。私は

新人紹介-その1- ハズン



自我に自覚めたころから女である自分にだわり続けてきた。すべて男の尺度で物をはかる現代社会。こんな世の中では、女は全

的に生まれない。子宮をもった女が、そして私が太陽のぶとく輝ける生き全うで

ある。社会の底辺で虐げられてきた女・子供、老人の代弁としてリスはあり、私の共同体志向はリスという発想から始まる。

新人紹介-その2- ハマ

通称 ハマ 22才 ♂ 和歌山出身

ようしゅうおたの申します



春のキャンパスを含めた30日直で弥栄は僕の中に現われた。そして今、出発点...。出発点を想うこと、弥栄を出

くだ エネ ーを 出し その 弥栄 か味 はっ と持 生産 運動

の全体へかかわっていきたい。今は、まだすべてが願望形。よろしゅうおたの申します。

たす。

Work Camp

弛張を あとにして 1ヶ月たった

～ ちょっと書いてみようかな ～

先日、春のワークキャンプの東京報告会へ行ったけど

十分 話が できなかったの で

キャンプって何だろうと考える

学習ってことを考えてみると、形態は様々にして、考えれば、ある思想を内化させることだと思う。もう、きっと、ボクらは、学校ななという、学習専門機械の中で、頭だけ、増大させることに、いやけがさしているのだろう。頭ばかり、疲れて、手や足が、疲れないなんてのは、罪なことだ。そんなのを、少しでも 解消しようとして、会合とか、行なわれる。

それでも、不十分なのです。やっぱり、労働を 共有したうえでの学習ってのが、求められるのが 当然だ。

非日常レベルでの学習ということを考えれば、ワークキャンプってのは、

より本来的な姿だといえる。

キャンパーってのは、

キャンプを、左のように規定すれば、キャンパーってのは、学習者ということになる。で、いわゆる常駐者とキャンパーを見た場合、常駐者にとって 学習なんて、言葉は、すでに なくなってしまうている。

キャンパーにとっては、やはり、一日中 学習なのだろう。しかし ワークキャンプという形態は、キャンパーを、日常の中にきき込むことによって、学習ということを 解消させることができるだろう。

補足

学習＝非日常に
おける 思想の内化
作業



Work Campで学んだこと

学生ってのは、生活から 遊離した
(ボクは)
ところというか、あんまり 学校で
ならったことを 自己検証しないのです。

評価というの、何の上昇志向をくすり、より 完璧で、高度なものを求めるのです。

もし、学習の結果に 価値を見出すならば、それはより生活レベルで 貫かれているかということでしょう。

その方が 説得力があるもの。

ああ、たいへんだ

「めざす社会の一部でも、今
に実現させていく」

学生であることを 強いてしまっているボクは、学生であるという存在そのものを 上のことに 立脚させてとらえ直す、必死に 常に せまられている

学生って 何だ!

一応 おわり

【ヘーポーからの
ラフレターより】